



短冊に願いを込めて



盛り上がった安西絵里のコンサート

8月4日、さんさん館施設及び駐車場を会場に第2回つべつ七夕まつり（主催＝つべつ七夕まつり実行委員会）が開催され、町内外から500名を超える方々が訪れました。

多目的広場には、ステージと客席が設けられ、沿道には、子どもたちを中心に町民の皆さんによって作られた小行灯96基が並びました。また、駐車場には願い事を書いた短冊がくくられた柳の木を囲むように飲食席が設けられました。

午後4時45分からはコンサートが開演し、第1部ではRECつべつがリコーダーとギターによる息の合った演奏を披露。第2部は、美幌町のバンド「ファンキーブラザーズ」が、ノリの良い演奏で観客を沸かせていました。第3部は、オホーツク観光大使でもある安西絵里が出演し、芯のある澄んだ歌声に観客からは惜しみない拍手が送られました。

また、実行委員会構成団体による手作り屋台・縁日コーナーは、飲み物・食べ物を求める列が途切れることなく、来場者は夏の夕べの一時を満喫していました。

行灯 屋台 コンサート 第2回つべつ七夕まつりが盛会に開催

花のまちづくりに向けて フラワーマスター認定講習会開催

7月29日、中央公民館で平成24年度フラワーマスター認定講習会が開催されました。花の育成管理、まちなみ景観に配慮した花の使い方などを指導助言できる方を『フラワーマスター』として認定し、うるおいとやすらぎのある地域独自のまちづくりを推進する人を増やそうという北海道の事業で、認定を受けるには地域の推薦と講習会への出席が必要です。

今回の講習会には町の内外、遠くは稚内市から88人が参加。講師の中井和子氏（中井景観デザイン研究室主宰）、笠康三郎氏（緑化計画代表取締役）の話に熱心に耳を傾けていました。



わんぱくキッズ さんさん館で水遊び

7月24日、さんさん館前のウッドデッキで『わんぱくキッズ・水遊び』が行われました。

わんぱくキッズは、生後3か月から保育所・幼稚園入園前までの親子を対象とした教室です。

この日は前日からの猛暑で、朝9時30分ごろから徐々に14組の親子が集まり、



気持ちの良い青空の下、2つのプールや保育士が作ったペットボトルタワー、シャボン玉などでたっぷり水遊びを楽しみました。

top nics

まちのわだい

木製すべり台と木製パネル さんさん館に寄贈

さんさん館が第15回全国木材活用コンクールにおいて農林水産大臣賞（最優秀賞）を受賞したことを記念し、8月2日に木製すべり台と木製パネルが寄贈されました。木製すべり台は、さんさん館の建設主体工事を行った清水建設株（清水靖則代表取締役）からの寄贈で、カラマツの合板と集成材により製作されています。

木製パネルは、家具等の製作を行った山上木工業有（山上裕靖代表取締役）からの寄贈で、さんさん館の写真と賞の概要を表示したパネルが、カラマツ合板の集積材で加工した額縁に収められています。

佐藤多一町長からは、「いずれも建物にフィットし、さんさん館を訪れる皆さんに津別の木材加工技術を誇れるものになると思います」とお礼が述べられました。



遊び場コーナーの木製すべり台



エントランスの木製パネル

第62回社会を明るくする運動 ふれあい町民のつどい開催



地元の味を子どもたちに 津別産和牛が寄贈される

津別町肉牛振興会（迫田和男会長）から教育委員会に津別和牛肉60kgの寄贈があり、8月2日、阿部博道教育長に目録が手渡されました。

地元の食材をあまり食べたことがない子どもたちに味を知ってもらうとともに、安心安全なものを提供したいという想いから実施されたもので、今年で3年連続の寄贈となります。

この牛肉は、夏休み明けに町内全ての小、中学校の給食の献立として出されました。



力を合わせて家づくり ダンボールキャンプ実施



7月28日、29日の両日、豊永の屋内ゲートボール場で、夏休み恒例のダンボールキャンプが行われました。

小学1年生から6年生までの参加者は、男女別に5つの班を結成。高校生のボランティアスタッフや保護者らとともに、みんなで力を合わせて商店などから提供されたダンボールを使って、個性的な家を組み立てました。

我が家が完成すると流しそーめんやジンギスカンの夕食、翌朝にはみんなで一緒に朝食作りに挑戦するなど、夏休みの楽しいひとときを過ごしました。

いちいの園慰問 共和地区盆踊り大会開催

8月11日、いちいの園慰問・共和地区合同盆踊り大会が開催されました。毎年、特別養護老人ホームいちいの園の駐車場を会場に、共和第2・第3・第4自治会と、新栄老人クラブとの共催で開かれていたもので、今年で29回を数える恒例行事です。

地域の住民が浴衣姿や思い思いの仮装で踊りを披露。途中からはホームの入所者も輪の中に入り、踊りを楽しみました。

会場には焼き鳥、ビールなどの屋台も軒を連ね、参加者はよ



うやく訪れた暑い夏の夜を楽しんでいました。

7月26日、ふれあい町民のつどい（社明運動津別町推進委員会主催）が中央公民館で行われました。町長の主催者あいさつ、美幌地区保護司会津別分区長の福井全雅さんによる法務大臣メッセー・ジ紹介に続いて、「社会を明るくする運動標語」入賞者の表彰式が行われました（最優秀賞は広報8月号に掲載）。

また、DV被害女性への自立支援を行う団体『ウイメンズ・きたみ』の長尾啓子さんによる講演では、夫や恋人による暴力の実態や、駆け込みシェルターの運営状況などが語られ、聴衆は真剣な表情で聴き入っていました。